万引対策百般 TOKYO立ち 余話(14)

内なるLP道 工業会JEAS初の科学保安講習会開催

NPO法人 全国万引犯罪防止機構

推奨　顔認証(来店者検知)システム・マスク対応プラス試験合格機器

JEASでは、防犯目的で顔認証システムを導入検討する企業様に、JEASで定めた基準に適合するシステム機器及び個人情報の保護に関する法律等関係法令を遵守し、安心で安全なシステムを運用できる「推奨顔認証システム制度」を設けました。
2021年度よりマスク着用試験を加えました。
推奨顔認証システムが万引対策にとどまらず、認知症の方の見守りなど街の安全・安心ためのサポートツールとして普及することを願っております。

No.	企業名	製品名
001-2	パナソニック システムソリューションズジャパン㈱	FacePRO
002-2	日本電気㈱	NeoFace KAOATO
003-2	グローリー㈱	来訪者検知システム
004-2	㈱GeoVision	Ai FR Server

工業会 日本万引防止システム協会
カメラ画像安全利用推進委員会・科学保安プロジェクト・個人情報管理室　共同企画

内に愛と理性を宿す科学技術

2600年前の古代ギリシャ世界で、リュディア王国とメディア王国が長きにわたって、現在のトルコ中央部を流れるクズルウルマク川の近くで戦っていた。ミレトス学派の始祖である哲学者タレスは、両国の指揮官たちに「神々が停戦を求めている。その証拠に、紀元前585年の春のその日に、両国は闇に包まれるだろう」と警告した。そして、その日、日食により天は暗くなった。両王の兵士たちは震える手から武器を捨て、戦争自体が終結した。バビロン王などが仲裁に入り、条約を取り結んだことで、リュディア王国とメディア王国の15年におよぶ、決着の着かない戦いは終結した。

実はタレスは、サロス周期、つまりある場所で観測した日食・月食が再び地球上の他の地域に同様の形であらわれるまでの周期(六五八五日)だということを過去データと自身の観測から学んでいた。タレスは自然現象を神の意思ではなく物理モデルで示そうした最初の人であり、それは科学技術の発展にとって不可欠なものであった。そして、タレスは科学を平和利用のために使った歴史上最初の人でもあった。

タレスは、何が困難な事かと訊かれた際に、「自分自身を知る事だ」と答え、何が容易なことかという問いには「他人に忠告する事だ」と答えていたという。タレスの生き方には、科学技術を使う者は内に自省的な愛と理性を持っていなければいけないという戒めを含んでいるように思える。

……

今回の余話では、警備員などが顔認証システムという科学技術を使う際のポイントを学ぶ場として創設された科学保安講習会の誕生物語をつづる。

コロナ感染者数が激減するなか、大量万引や常習万引者が各地で拡大傾向に転じている。この科学保安講習会の目的や内容を知っていただき、店舗・地域において、実行力のある施策、前進するための何かしらの方策を自身の内より見いだしていただければ有り難い。

講師やアドバイザーとの出会い

●科学保安講習会プロジェクトリーダーで日本保安の代表取締役社長を務める青柳秀夫氏との出会いは、20年以上前のことである。彼が現場の保安員の責任者として、ドラッグストアの店長向けに万引対策の講演されていたのを拝見したのが最初の出会いであった。青柳氏は、万引防止のための関係法令集を丁寧に説明されていた。当時、他の保安員の講習会では「EAS機器は誤報やトラブルが多く使えない」と言う方がいたが、青柳氏はEAS機器を適切に使えば、ロスは削減すると話された。その後、平成29年10月万防機構でロス対策制度作成委員会に加わっていただき、平成30年5月から始まったヘイズ博士の教科書でLPを学ぶ会の毎月勉強会にも毎回参加された。JEASへは賛助会員として平成28年9月に入会いただいた。青柳リーダーには、今回の講義で司会者と「個人情報保護(保護指針と冊子)」の講義を担当いただいた。責任感の強い方である。

●同じく講習会のスキル向上技術長であるJSSの第一保安警備事業部部長である林俊一氏との出会いは、三宅副会長より、都内に顔認証システムを活用している警備会社があるということで紹介され、それがご縁で令和元年の9月にJEASに賛助会員として入会いただいた。林部長は、10年前より顔認証システムに携わっており、林部長の助言で、各社の顔認証の使い勝手はかなり改善されたと聞く。令和2年6月の推奨顔認証システム認定制度、本年9月のマスク対応プラス認定では、審査員を担当していただいた。今回の講習会の「顔認証を使った保安業務」の講義を担当いただいた。長年の知識・ノウハウが凝縮された完璧な講義だった。

●同じく講習会の統括指導はセフトHDの代表取締役社長である山根久和氏に担当していただき、科学保安員の心構えと日々の研鑽について話された。JEAS理事でもある山根氏は人望のある方で、皆をまとめる良き兄貴分である。セフトHDは平成25年5月に正会員として入会いただいた。専門の保安警備会社としては、初めての入会だった。きっかけは同年3月にセキュリティショー・JEASセミナー「万引対策がすすむ10のポイント」を視聴された

11月16日(火) 市川ビルでの
科学保安・LP推進店ステッカー貼付式

ことを考えているからこそでしょう!今後も益々のご活躍を期待しております。

科学保安47士

JEAS画像安全利活用＊警備全国MAPに掲載されている32名の受講修了者に加え、講師・アドバイザーを務めていただいた長田泰文氏、豊田孝志氏、青柳秀夫氏、三宅正光氏、林俊一氏、井上清司氏、山根久和氏、佐藤賢二氏、長岡秀樹氏、近江元氏、摺田祐司氏、福井昂氏、山本健二氏、新井浩樹氏、関口昭義氏(順不同)の15名を加えた計47名を新たなロス・プリベンション(以下、LP)道を拓いた同志として、科学保安47士と呼び、我々の記憶に長く留めておきたい。

LPへの道とは、愛と理性に裏打ちされた知識やデータであったり、あるいは相反するものから生まれる新たなスキームだったりする。今回、顔認証システムという科学技術の現場適用を行いながら、新たなLP道が拓かれていく光景に立ち会うことが出来た。感謝。

以上を振り返り静かに目を閉じると「ですが、これは最初の一歩に過ぎないですよ。もっと科学保安講習会の有効性を高め、全国に賛同いただける同志を募り、対策を進めなさい。」と内なるLP道が語りかけてきた。

……

考えております。JEASの行動力と取り組みが、色々な波及効果を生み始めていると感じます。皆様が利益だけではなく、社会や業界全体の

JEASの活動

●9月29日(水)20周年記念講演会・JEAS技術セミナーを開催。第1部は電波法、電気用品安全法、医療機器との干渉試験などについて、技術基準委員会より説明を行う。第2部は東京都立大学名誉教授の多氣昌生先生による「EAS装置からの磁界の人体暴露と安全性」と題したご講演が行われた。総務省や電磁界センターや北大の専門家の皆様も臨席された。

●10月28日(木)～29日(金)リテールテックOSAKA2021に初出展。28日(木)会場内の特設ステージでJEASセミナー「画像等個人情報の越境問題とデータ利活用」を開催。講師のJIPDEC常務理事である坂下哲也氏が難しいテーマを平易に説明された。

【JEASブース来場者の御意見より】

☆有名ディスカウントの役員さんから、いつも工業会メルマガを読んでいます。すごく参考になっています。出展されているということで、ブースに来ました。次回も来ますね。がんばってください。

☆関西で大型スーパーを100店舗以上営まれている社長さんから、万引防止システムや教育制度がこんなに進んでいるとはまったく知らなかった。このロス対策士の試験はいつですか? ロス対策年間チャートやこれらの資料をいただいてもいいですか。今日は来て良かった。さっそく工業会メルマガに登録しますね。(同社幹部3名登録された)

●11月9日(火)個人情報保護委員会主催による認定個人情報保護団体セミナーが開催。基調講演「民間における個人情報保護に向けた自主的取組」では、牛島総合法律事務所弁護士の影島広泰氏が登壇された。後半のパネルディスカッションではJEAS個人情報管理室長が登壇し、推奨顔認証システム制度や科学保安講習会などの取組みを説明した。

東京万引き防止官民合同会の情報

コロナ禍で延期されていた万引き防止のための防犯責任者養成講座が10月に再開された。8月に完成した「万引き防止対応ガイドライン第2版」のハードには顔認証システムの運用(個人情報保護等)や企業間情報共有やセルフレジ対策などが追加された。なお、新ガイドラインは全国の警察本部の担当課に参考資料として送られた。

☆10月11日(月)志村署 午後2時から オンライン研修

☆10月12日(火)高井戸署 午後2時から オンライン研修

☆10月19日(火)世田谷署 午後2時から 集合研修

万防機構の情報

●11月10日(水)「渋谷プロジェクトの開始後2年目の状況について」が発表された。推奨顔認証システムをご活用いただき対象店舗のロス率は着実に改善されている。詳しくは機構内のHPにある渋谷書店万引対策共同プロジェクトのサイトをご覧いただきたい。

……

結びに、EASゲートにはEASステッカーが貼付されている。その数約25万枚。EASステッカーは医療機器装着者への配慮から貼付されているものだが、この店は万引対策に取り組んでいる、この店では万引できないという抑止効果につながっている。同じく、科学保安・LP推進店ステッカーや推奨顔認証ステッカーを店頭に貼付することで、「この店は防犯対策と個人情報保護の両面がしっかり出来ている店である」と地域の人々から評価され、窃盗団など万引を敢行してくるやからにとっては、このステッカーを見ただけで、体が震え、万引をしようと思わなくなる、そういうシンボルになってほしいと思う。これらの日々の地道な活動を通じ、我々は哲学者タレスから始まったIP道を次の時代へとつないでいきたい。

全国万引犯罪防止機構(通称:マンボウ)
万引撲滅のための戦略を本気で提言・実践する小売業界を中心に組織化されたNPO法人
文:事務局(稲本義範)

資料編

■令和3年10月22日(金)開催 第1回科学保安講習会
・主催者挨拶・第2回推奨顔認証交付式
・推奨顔認証システム制度・全体説明
・顔認証を使った保安業務
・NEC機器説明
・グローリー機器説明
・パナソニック機器説明
・ジオビジョン機器説明
・休憩
・個人情報保護(保護指針と冊子)
・全館管理と防犯会議事例紹介
・防犯データの分析と活用
・質疑応答
・確認テスト
・閉会の辞(監事より)
・今後の予定・閉会

■講習会参加者32名の結果
100点満点中平均点数95・5点、最高点が100点、最低点が65点(追試中)

■参加者アンケートの結果
当日は一部通信などの不備があったものの、アンケートでは参加者全員より「とても良かった」という回答をいただきました。自由意見の一部を紹介します。

☆マスク対応の推奨顔認証システムは警備にとって心強い味方だ!と感じました。

☆市川ビルのロス削減の話(施設警備と保安警備の連携)がとても興味深く感じました。

☆防犯目的での範囲を超えないようにデータの取り扱いに注意したいと思います。

☆従業員・警備員と画像認証の共有により、より安全な店舗更には地域を構築できることを説明していきたい。

☆今回学んだことをお客様にも知っていただき、店舗に応じた改善策を提供できるよう取り組んでいきたいと思います。

青柳リーダーと山本ワーキング長より

●青柳リーダーより
第一回科学保安講習会を関係者の皆様のお力添えで無事に終えることができました。関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。

JEAS稲本会長が保安警備の実情を聞き打開策を講じる手助けとして、進化する顔認証システムを活用した新たな保安警備のサービスを適法に実施できるよう企画されました。

顔認証システムを活用するにあたり個人情報保護法など様々なご専門の方々より教えを請い、個人情報保護団体として認定を受け、会員企業が登録できるように工夫され、十分な配慮を基に万引被害で苦しむ小売業の皆様に役立ち進化する技術を十分に保安員が活かせるように考えられた講習会でした。

私は保安警備専門に約30年経過し、企業の代表者として次世代に保安警備業務を継承していくためには科学の力を活用することが必要であると判断しました。本講習を基に顔認証を活用した科学保安が活躍できることを心から願っております。

●山本ワーキング長より
推奨顔認証システムは2020年に推奨顔認証システムの認定基準作りと第一回の審査を行いました。第二回は本年9月にコロナ禍に増加したマスクを着用した来店客の照合を認定基準に新たに付加した審査を行いました。個人情報にも配慮した仕様となっており、小売業の現場において十分にご活用できるものとなっております。今回、シ

ステムを現場でご使用になられる皆様に対して講習させていただき理解を深めていただくことでより犯罪予防に役立ていければと考えております。

科学保安・LP推進店確認表

https://www.jeas.gr.jp/2021.xlsx

JEAS認定の科学保安員による店舗診断「科学保安・LP推進店確認表」で7割以上の評価をさせていただいた店舗様には、店頭用表示【科学保安・LP推進店ステッカー】を110円(税込)で頒布させていただいている。なお、科学保安・LP推進店ステッカーは、顔認証システムが導入されている店舗を示す言葉ではなく、顔認証システムやVMSについての基本的な安全管理教育や効果的な運用知識を学ぶ科学保安講習会を修了した者がロス改善・万引対策を指導している店舗だということを意味している。

市川ビル 長田泰文取締役より

科学保安・LP推進店ステッカー1号店の件、誠に光栄な話です。弊社内でも情報共有しましたところ、社長の田平も大変喜んでおりました。もっと大きなステッカーは無いのか!と申しておりました(笑)。ビル内外にステッカー掲出の経緯や説明をポスター化させて頂き、掲示出来ればと